

平成 28 年度宮崎県及び北海道公立学校教員採用選考試験の

結果発表！ 宮崎県高等学校英語 2 名、北海道中学校英語 1 名合格

平成 28 年度宮崎県及び北海道公立学校教員採用選考試験の二次試験結果が発表されました。本学からは、宮崎県高等学校英語に 2 名、北海道中学校英語に 1 名、合計 3 名が合格しました。おめでとうございます。合格したのは、次の皆さんです。

平成 24 年度卒 津嶋大樹さん（現在、県立宮崎農業高校常勤講師）

平成 26 年度卒 川口雄貴さん（現在、県立延岡星雲高校常勤講師）

平成 27 年度卒業予定 小黒建昇さん（現在、本学 4 年在学中）

宮崎県の平成 28 年度教員採用予定者のうち、高等学校英語の採用予定者は 4 人でしたから、本学卒業生が 50%を占めたこととなります。本学から採用された人数は、今年度も昨年度と同様の 2 人でしたが、昨年度は採用枠を独占するという快挙を成し遂げてくれました。また、北海道の中学校英語の合格者、小黒建昇さんは本学の 4 年生であり、現役大学生の二次試験合格は最近ではあまり例のない大変すばらしいことです。本学から 2 年連続で輝かしい成績を上げたことを、大学を挙げて祝福したいと思います。

なお、隣接する宮崎学園グループの宮崎学園短期大学卒業生も、宮崎県の小学校教員採用選考試験の二次試験に 4 人合格をしました。併せて、心から祝福の拍手を贈りたいと思います。おめでとうございます。

教員採用試験合格支援プログラム「特別対策講座基礎Ⅰ」を開講！

後期に入り、1 年生にとってははじめての特別対策講座「基礎Ⅰ」を開講しました。幼保コースの学生も含めて、ほとんどの人たちが受講しました。内容は、次のとおりです。

(1) 今年度の宮崎県教員採用選考試験の実施要項を配付して、一次試験（筆記試験）の出題枚数と試験時間を説明しました。さらに、問題の一部を印刷して、実際に解いてもらいました。もちろん、初めて目にする問題ですから、すべての学生が、頭を抱えたりその量の多さに驚いたりしていました。



(2) 学生教職支援センター通信第 3 号の内容を基に、「押さえておくべき最近の教育動向」について説明するとともに、同通信に掲載した「卒業生からのメッセージ」を活用して、教員採用試験に合格した先輩たちの並々ならぬ努力を紹介しました。

(3) 教育・保育実習前に習得しておくべき科目について説明しました。

さて、ここで受講した1年生の感想を紹介しましょう。

- 今回、特別対策講座を受けて採用試験について知らないことばかりだということに気付くことができて、とてもよい講座でした。実際の試験問題を解いてみたら、自分が勉強不足であることを実感できたので、これからがんばろうと思いました。
- はじめに、自分の知識のなさにあきれました。心理学概論や日本国憲法で学んだことを忘れていました。学習指導要領や世の中の出来事もさっぱりでした。この対策講座で、必要なことが少しでも身に付くように努力しようと思いました。
- 一番強く感じたのは、これからの試験に向けた勉強量の膨大さに改めて驚かされたということです。採用試験は倍率も高く、並大抵の努力では突破できないと分かっているつもりでしたが、内容やその量を今日具体的に知ることができたおかげで、今まで軽くしか考えていなかったことに気がきました。気合を入れなおすことができてよかったです。

これから後期に12回の特別対策講座を開講しますので、学生諸君には第1回目で気付いた採用試験の厳しさを思い出し、日々の努力を重ねてほしいと思います。

教員採用試験対策のポイント…図画工作！

シリーズで掲載しています教員採用試験対策の「科目別ポイント」について、今回は2回目として守川美輪先生に図画工作科の紹介をしてもらいます。必ず確認しておいてください。

宮崎県の場合、図画工作科では次の事項について出題されています。

- ① 図画工作の目標
- ② 各学年の目標及び内容、
- ③ 指導計画の作成と内容の取り扱い
- ④ 観点別評価の観点について
- ⑤ 〔共通事項〕について
- ⑥ 指導法について
- ⑦ 言語活動の充実について
- ⑧ 基礎的な知識技能（道具の名称、技法名、道具の取り扱い方など）
- ⑨ 実技

これらに関する勉強は、学生教職支援センターが実施している「特別対策講座」を活用することと、市販の「小学校全科」で基礎知識技能の定着を図るとよいと思います。指導法については今後授業科目「図画工作科教育法」で取り組みます。

最後に問題です。フォトデッサンや点描による油彩画を製作した宮崎出身の画家の名前を答えなさい。（皆さん答えられたことでしょう）

宮崎学園創立記念講演で、新規採用教員坂本枝律奈さんから熱いメッセージ

去る10月12日に本学で行われた宮崎学園創立記念行事の中で、今年度、新規採用教員として県立延岡星雲高等学校で教職生活をスタートさせた坂本枝律奈さんが、在学生に熱いメッセージを送ってくれました。その中で、「なぜ自分が教師の道を選んだのか」ということについて触れました。坂本さんは、本学在学中に様々なことにチャレンジしたそうです。そして、本学の授業や学友会活動を通して、それまで自分ができるようになったということです。また、今の自分があるのは、いろいろな人に支援していただいたおかげだという思いから、教師となった今、生徒たちの可能性が花開くように自分ができることを精一杯支援していきたいと話してくれました。最後に、4年間を振り返って「ありがとう。あなたは4年間よくがんばったね」と自分に言える学生生活を送ってほしいと熱く訴えました。